

オカザえもん!?と踊る 岡崎 re-born ダンス 2 概要

1 事業実施から応募・オーディションまで

2015年の第2次文化振興推進計画策定委員会において、「岡崎市の強みを活かした創造的な舞台公演ができないか」という意見が出され、委員から光ヶ丘女子高等学校出身で海外での実績もある福森ちえみ氏をご紹介いただき演出に迎え、2017年3月に「オカザえもん!と踊る! 岡崎 re-born ダンス」を開催しました。

2回目となる今回は、舞台芸術に親しんでいただき、岡崎の文化を創造していく人材を育成することを目的に、「オカザえもん!と踊る 岡崎 re-born ダンス 2」として実施します。演出・振付については前回と同じく福森氏です。

募集については、8月から11月にかけて行いました。ダンス経験の有無を問わず市内在住・在勤・在学の方を募集したところ、6名の応募があり、12月中旬にオーディションを実施しました。

また、市内の高校・大学のうち、ダンス部として実績のある光ヶ丘女子高等学校、岡崎女子大学・短期大学へお声がけしオーディションを行いました。

オーディションの結果、小学生から60代まで19名(一般6名、光ヶ丘女子高等学校8名、岡崎女子大学・短期大学5名)が合格しました。



2 オリエンテーション&フィールドワーク

1月21日(日)午前中にオリエンテーション、午後にフィールドワークを行いました。フィールドワークでは、岡崎歴史あたり人のご案内で、岡崎城において、八丁味噌、花火、家康行列など岡崎の歴史を説明していただいた後、龍城温泉の見学をしました。このフィールドワークで学んだ内容が創作ダンスに反映されています。



3 ダンス創作

福森さんの指導のもと、フィールドワークで学んだことを振り返り、武将や米俵など様々なキーワードをもとに、部分ごとにダンスを創作していきました。特に、オリジナルの家康^{バレード}行列については、ギター、ピアノカ、タンバリンなどの楽器を演奏しながら踊るというもので、練習に練習を重ねています。また、オカザえもん、オカザえもん兄、オカザえもんが出演することもあり、オカザえもんを題材とした曲「オカザえもん音頭」¹の振付も練習しています。

ダンスの全体稽古は1月下旬から始まり、今後2月17日(土)・18日(日)・25日(土)、3月3日(土)・4日(日)を予定し、参加者19名で3月11日(日)²の公演に臨みます。

1 オカザえもん音頭は、生徒会が中心となり岡崎市立南中学校の生徒たちが作ったものです。

2 3月10日にリハーサルを行います。

